

授業科目	*看護研究の基礎					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	必修	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	財津 優子、眞崎 直子、吉原 悅子						
授業概要	<p>研究を行うためのプロセスを学び、文献のクリティックを実施し、研究目的にあった研究デザインを選び、研究計画を立て、調査実践まで行うことができる。</p> <p>興味・関心のある事柄について基礎的事項や関連事項の情報収集と整理を繰り返し、リサーチクエスチョンの焦点化によって、看護実践での現象や実態を明らかにする研究力の修得を目指す。</p> <p>文献クリティック、量的データの集計、質的データの集計、調査票の作成、研究テーマの選定、研究計画書、研究説明文書・同意文書、抄録作成の課題に取り組む。</p> <p>以上のことについて、実務家教員として保健師・看護師経験および看護研究の実務経験を有する教員が教授する。</p>						
授業形態	対面授業	授業方法	講義、演習、プレゼンテーション				

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	<p>理想的なレベルには達しないものの、興味・関心のある事柄について、情報収集と整理を繰り返し、深く理解することを体験できる。得られた情報を看護や学修場面で想起することができ、リサーチクエスチョンの焦点化から、研究方法の選定ができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文献クリティックを作成できる (DP1-2, DP2-1) 2. 尺度の活用や回答様式を検討し、質問紙を作成できる (DP1-2, DP2-1) 3. 指定された質的データの内容分析を行い、結果を示すことができる (DP1-2, DP2-1, DP4-3) 4. 研究計画書を作成 (テーマに関する背景・目的・対象・方法・倫理的配慮の記述) できる (DP1-2, DP2-1, DP4-3) 5. 研究説明依頼書・同意書・同意撤回書が作成できる (DP1-2, DP4-3) 6. 研究計画、研究目的にあった質問票を作成できる (DP2-1, DP4-3) 7. 学生を対象とした質問紙調査を実施し、結果を集計することができる (DP2-1, 4-3) 8. 調査結果について考察し、抄録を作成できる (DP1-2, DP2-1, 4-3) 9. 研究成果をプレゼンテーションできる (DP1-2, DP2-1, 4-3)
理想的レベル	情報収集と整理を繰り返し、自身の興味・関心のある事柄を見出すことができる。見出した研究テーマについて網羅的に収集した情報から合理的かつ客観的に資料を選定し、深い理解に到達することができる。集めた情報を整理し、看護の実践や学修に活用することができる。研究テーマについてリサーチクエスチョンを焦点化し、研究の基礎的事項を踏まえ、実態や新たな知見を得るための合理的な研究方法を策定することができる。調査で得られたデータを適切に処理し、結果を集計し、結果を要約して示すことができる。結果の解釈と文献的に多様な視点から考察し、リサーチクエスチョンに応じた意見提示をすることができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合(数値)	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	12%	文献クリティック
発表(口頭、プレゼンテーション)	12%	研究発表

レポート外の提出物		60%		研究計画書、質問紙作成、同意書、同意撤回書、抄録、研究発表資料	
その他		16%		態度（調べる、意見を述べる、提出期限を守るなど）	
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング					
DP1	○	DP2	○	DP3	-
学習課題（予習・復習）					1回の目安時間（時間）
<ul style="list-style-type: none"> 講義のあと、各自 PC を用いて情報検索、資料の作成を行います 情報収集や整理、調査研究の準備・実施・まとめなどでグループワークが必要です 					1
授業計画					
第1回	<p>1. 看護研究とは 序章 1章 終章 研究とはなにか、看護実践の質向上に必要な研究力、看護研究の歴史と未来 担当：財津倫子</p>				
第2回	<p>2. 看護研究の始め方、情報探索と吟味【講義と演習】 2章、3章 リサーチクエスチョンとは、文献の種類、文献検索の方法、文献検索データベースの実践（個人ワーク） 担当：財津倫子</p>				
第3回	<p>3. 論文クリティック【講義と演習】 3章、9章（資料参照）文献の読み方、クリティックの作成 レポート①：指定論文のクリティックの作成（個人ワーク） 担当：財津倫子</p>				
第4回	<p>4. 研究における倫理的配慮 4章 研究における倫理、遵守すべき倫理原則、権利擁護、研究の依頼と同意 担当：眞崎直子</p>				
第5回	<p>5. 量的研究の基礎 5章 研究デザインの選択、研究デザインの違い、量的研究デザイン、実験研究 信頼性、妥当性、プラセボ効果、盲検化 担当：財津倫子</p>				
第6回	<p>6. 量的データの収集と実践【講義と演習】 6章 7章 Web フォーム作成と回答、回答の集計、グラフ作成（個人ワーク） 担当：財津倫子</p>				
第7回	<p>7. 質的研究の基礎 5章 質的研究デザイン、事例研究、質的記述的研究、内容分析、エスノグラフィー 担当：吉原悦子</p>				
第8回	<p>8. 質的データの収集と分析【講義と演習】 6章 7章 問項目の作成と回答、コード化・カテゴリー化の実践（グループワーク） 担当：吉原悦子（財津倫子、眞崎直子）</p>				
第9回	<p>9. 研究計画書の作成①【講義と演習】 2章 12章 研究背景、研究前提の情報収集と整理、リサーチクエスチョンの焦点化（グル</p>				

	プワーク) 担当：眞崎直子（財津倫子, 吉原悦子）
第10回	10. 研究計画書の作成②【講義と演習】 8章、11章 研究背景、研究目的、研究方法、研究デザインについて（グループワーク） 担当：眞崎直子（財津倫子, 吉原悦子）
第11回	11. 研究計画書の作成③【演習】 8章、11章 調査の対象、調査項目、結果の集計について（グループワーク） 担当：眞崎直子（財津倫子, 吉原悦子）
第12回	12. 研究計画書の作成④【講義と演習】 6章、8章 質問票・研究説明文書・同意文書・同意撤回書の作成（グループワーク） 担当：吉原悦子（財津倫子, 眞崎直子）
第13回	13. 調査の実施【演習】 4章、6章、7章 研究説明と同意、調査の実施、回答、データ入力、データ集計 担当：吉原悦子（財津倫子, 眞崎直子）
第14回	14. 研究成果のまとめ方【演習】 9章 論文作成、研究背景、調査方法、調査結果、考察、抄録作成、プレゼンテーション資料の作成（グループワーク） 担当：財津倫子（吉原悦子, 真崎直子）
第15回	15. 研究成果の発表【演習】 9章 パワーポイントプレゼンテーション 担当：財津倫子（吉原悦子, 真崎直子）
テキスト	・系統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・研究課題、リサーチクエスチョンに関連ある事柄の意図的な情報収集、定期的な情報検索の仕組みを自分なりに持ちましょう ・データベース、文献検索以外にも、看護医療系雑誌、SNS、Web サイトなどの情報に努めて触れてください
課題に対するフィードバックの方法	・別途示す評価表に基づいて評価します ・提出前に評価を確認しましょう
学生へのメッセージ・コメント	これまでの看護専門科目の学修の中で、自身が興味・関心を強く持った事柄で、さらに調べてみたい、深く知りたいと感じたことを振り返ってみてください。継続的に取り組むことで充実感を得られるような研究テーマを見つけましょう。 疑問に思ったこと、知りたいことを調べる方法を実践的に学ぶ科目です。適切な研究により正しい結果が得られ、質の高い看護の提供につながります。研究知識は、看護に限らずあらゆる人の活動や思考の基盤をなし、将来にわたって欠かせないスキルであることを意識しましょう。

